

Sumida-BWA 利用規約

(目的)

第1条 この規約は、墨田区(以下「区」という。)が提供する公衆無線LANサービス「Sumida-BWA」(以下「本サービス」という。)の利用方法と注意事項について定めるものです。

(利用者と料金)

第2条 本規約に同意した者(以下「利用者」という。)に対して、本サービスを無料で利用する資格を付与します。

2 本サービスは無線LANによるインターネット接続機能までを無料とし、本サービスを利用するために必要な通信端末は利用者が用意し、3G/LTE等その他の通信料は利用者が負担するものとします。

(セキュリティ上の留意事項)

第3条 本サービスは、利用者の利便性向上のため、無線区間の暗号化を施していないため、本サービスを利用する際、HTTPS等のセキュアなプロトコルで暗号化されていないWebサービス又はメール通信を行った場合に、本サービスに接続している悪意のある第三者により、その通信内容を傍受される可能性が高まることにご注意ください。

2 利用者は、このサービスが、利用者の通信端末に対しCookieを使用することを許可する必要があります。利用者の通信端末でCookieを無効にすると、サービスが正常に動作しなくなります。

(個人情報の取扱い)

第4条 区は、本サービスの提供において、利用者の次に掲げる情報を収集し、管理します。

メールアドレス又はSNSのIDとユーザー名

利用に係る端末のMACアドレス

接続時間

通信量

接続先の無線LANアクセスポイントの設置場所

2 前項の情報(以下「利用者個人情報」という。)は、本サービスの提供に係る業務を行う東京アンテナ工事株式会社(以下「提供事業者」という。)で管理されます。この際、その業務の全部又は一部を、提供事業者が第三者に委託する場合があります。委託される業務の範囲内において、前項の情報は当該第三者にも共有されます。

3 区及び提供事業者は、法令等又は裁判所の判決、裁判所若しくは行政機関の決定、命令、要請等により前項の情報の開示を要求された場合、合理的な

範囲で利用者個人情報を開示することがあります。

- 4 区及び提供事業者は、本サービスの提供に係る業務のほか、区又は提供事業者の業務の用に供するため、利用者個人情報が含まれるデータを、個人が特定できないよう内容に加工し、利用する場合があります。

(禁止事項)

- 第5条 本サービスの利用者は、次の各号の行為を行ってはならないものとします。

不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成11年法律第128号）等の法令又は公序良俗に反する行為

不正行為を助長するP2Pアプリケーションを利用する行為

各種サービスにおいて、第三者の合意なく、利用者以外のアカウントを利用する行為

本サービスの提供又は本サービスの他の利用者の利用を妨害し、又はそれらに支障を来す行為

著作権法（昭和45年法律48号）に違反するデータ若しくは猥な情報又は法令若しくは条例に抵触するデータのダウンロードを行う行為

他の利用者が不快と感じられる行為（誹謗中傷行為、プライバシー侵害行為、脅迫行為、名誉毀損行為、リベンジポルノ行為、いやがらせ行為、不特定多数による個人情報の特定行為等）

区又は第三者に対し、不利益若しくは損害を与える行為又はそれらを与えるおそれのある行為

前各号に掲げるもののほか、区長が不適切であると判断した行為

- 2 利用者が前項各号のいずれかの行為を行っているとき区長が判断したときは、事前の通知なく、区長は当該利用者との間における本規約を解約し、当該利用者による本サービスの利用を中止させることができます。

(本サービスの中止)

- 第6条 区は、必要があると認める場合において、何らの通知を行うことなく、本サービスの機能の全部又は一部の提供を中止し、又は終了することがあります。

(本規約の変更)

- 第7条 本規約の内容は、区が必要と判断した場合には、利用者の事前又は事後の承諾を得ることなく、予告なく変更することがあります。本規約の変更については、区が適切であると判断した方法により、利用者に通知し、又は公表します。

- 2 本規約の変更後に利用者が本サービスを利用した場合、区は、当該変更について利用者が同意したものとみなします。

(免責事項)

第 8 条 区及び提供事業者は、次の場合における本サービスに係る動作保証は一切行わないものとします。

利用者が第 5 条第 2 項の規定に基づき本サービスの利用を中止させられたことにより、インターネットの接続が利用できない場合

利用者が利用する端末の仕様等により本サービスに接続できない場合

本サービスで障害等が発生し、本サービスの提供が行えない場合

2 区及び提供事業者は、次に掲げる場合において、利用者に何らかの損害が生じたとしても、一切の責任を負わないものとします。

悪意ある第三者によって利用者に係る情報が傍受され、又は窃取され、不正に利用された場合

区が本サービスを変更し、又は本サービスの提供を中止した場合

区が本サービスの提供を終了した場合

本サービスの利用により、利用者の端末、OS、ブラウザ、各種ソフトウェアその他付属機器に不具合が生じ、又は利用者のデータが消失、毀損等をした場合

本サービスにおいて、利用者同士又は利用者と第三者との間で法令又は公序良俗に反する行為、名誉毀損、侮辱、プライバシー侵害、脅迫、誹謗中傷、いやがらせ等が生じた場合

前号に掲げるもののほか、本規約の規定に違反して発生した事象による場合

前各号に掲げるもののほか、本サービスの利用に伴い発生した事象による場合

(損害賠償義務)

第 9 条 利用者が本規約に違反した結果、区及び第三者が損害を被った場合、利用者としての資格を喪失した後であっても、利用者はその損害を負担する義務を負います。

(法令等の遵守)

第 10 条 利用者は、本サービスの利用に当たって、本規約に定めるもののほか、関連する法律、政令、省令、条例、規則、命令等を遵守するものとします。

(準拠法及び裁判管轄)

第 11 条 本規約に関する準拠法は日本法とします。また、本規約又は本サービスに関連して区と利用者との間で紛争が生じた場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

(その他)

第12条 本規約の原本は日本語です。各言語で提供される規約に齟齬がある場合、原本の表現と意図が優先されます。

2 利用者は、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）のアカウントを使用して本サービスにログインできます。この際、本規約と当該SNSの提供元が定める規約の内容に齟齬がある場合、当該SNSの提供元が定める規定が優先されます。また、当該SNSの提供元が日本国以外の国に所在する場合、当該所在地に係る国の法律が適用されます。

付 則

本規約は、令和3年4月1日から実施するものとする。